

事務事業分析シート（令和3年度）

No1

事務事業コード	03-03-01		戦略プラン	☐ 協働	☒ 業務	☐ 財務	☐ 人事	
事務事業名	設計、工事監理事務		部課名	管理部営繕課		課長名	柴田	
			担当者名	栗原、小菅		内線	2881	
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（3年度）		01-13-01	営繕課事務費					
事務事業の種類	☒ 新規事業（ ☐ 3年度 ☐ 2年度）		☐ 建設事業		☒ それ以外の継続事業			
開始年度	昭和 41	（ 1966 ）	年度	根拠				
終期設定	☐ 有 ☒ 無		（ ） 年度	法令等				
実施基準	☒ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☐ 区独自基準		計画区分	☐ 計画 ☒ 非計画				
行政評価 事業体系	分野	VII	計画推進のために					
	政策	14	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進					
	施策	03	事務の適正・公正な執行					
目的	施設の建設の適正な執行及び区有施設の適切な維持と、施設利用者の利便性を向上させる。							
対象者 等	区施設利用者、施設管理者							
内容	・次年度及び緊急の工事予算見積を行う。 ・執行委任を受けた施設の新築、増・改築及び既存施設の改修の設計、工事監理を行う。 ・工事成績評定書を作成し、業者の技術力や工事实績を評価する。 ・施設管理者に対し、予防保全型の維持管理が実施できるよう技術的支援を行う。							
経過	・平成21年度 総合評価方式の試行に伴い、工事成績評定を開始 ・平成23年度 図面管理システムの導入 ・平成24～26年度 図面管理システム運用に向けた既存図面の電子化作業 ・平成27年度 図面管理システム運用開始 ・令和元年度 図面管理システム機器更新 ・平成25年5月 中長期改修計画の策定 ・平成26年4月 中長期改修実施計画策定（H26年度～H35年度の10年間） ・平成28年度 劣化度調査を開始 ・令和元年度 点検資格者（建築士等）による建築物の劣化度調査の実施 ・令和2年度 令和元年度劣化度調査の分析の実施							
必要性	従来の事後保全型の維持管理から、定期的な点検や修繕による予防保全型の維持管理へ移行することを基本とし、点検・診断等の履歴を集積・蓄積することで、計画的な機能改善による施設の長寿命化を進め、将来的な財政負担の平準化を図る必要がある。							
実施 方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ） 委託業務名：宮前公園第二期整備区域管理事務所及びトイレ建設工事監理業務委託 委託業者名：株式会社環研 契約金額 6,215,000円 その他委託業務・業者 4件							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			30年度	元年度	2年度	3年度 見込み	目標値 (8年度)	
	①	安全・安心に係わる改修工事	3	8	6	2		工事件数
	②	老朽化に対する現況回復工事	24	19	11	20		工事件数
③	性能向上を図る改良工事	23	14	35	14		工事件数	
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
3年度	4年度							
推進	推進	事業実施に伴う適切な施設の改修等は必要不可欠である。また、施設の予防保全を図ることは、施設の長寿命化や維持管理コストの平準化に有効であるため推進する。						

